

令和5年度行政座談会でいただいた御意見（概要）

R5.7.31時点

宮園地区（6/19開催）

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
<p>工事車両が頻繁にとおり、危険を感じる。</p>	<p>（国、県）（道路を工事で利用する国県以外の関係機関含む）工事関係者への周知を徹底いたします。</p> <p>【その後の対応状況】 国、県、村それぞれ発注先に改めて周知しました。また、民間事業者も含めた情報共有の場の設置を調整中です。</p>
<p>昨年度の座談会や区長会で、道路の縁石の反射板設置を要望しているが、実現していない。住みよい村づくりのため、大きなことだけではなく、住民の小さな意見も大事にしてほしい。</p>	<p>（村）昨年度、現地調査を行い、見通しが悪い箇所の反射板は対応済みです。他に対応が必要な箇所があれば、現地確認したうえで対応を検討いたします。</p> <p>【その後の対応状況】 新たにご指摘いただいた箇所は、球磨地域振興局に対応を依頼しています。</p>
<p>河川の土砂撤去について、見通しを立ててやってほしい。</p>	<p>（国）土砂については、撤去とともに川に入れない対策が必要になります。今後、上流域に34基の砂防堰堤を十数年かけて整備していく予定です。河川と砂防事業が連携して安全・安心を確保いたします。</p> <p>（県）河川に溜まった土砂は適宜撤去いたします。また、川に入ってこないよう、砂防堰堤や治山事業、森林整備も含めて進めます。</p>
<p>毎年河川の土砂を撤去しているが魚がいなくなっている。自然に近い川にしてほしい。</p>	<p>（県）実施計画P27に記載しているように、まちなみとの調和や、瀬や淵の創出を行い、生物が戻ってくるような河川整備を進めていく予定です。</p>
<p>川辺川上流の土砂撤去を進めるため、県から自衛隊に予防措置として要請してもらおうよう進言してはどうか。</p>	<p>（村）検討いたします。</p>
<p>国には上流部の川の濁りも見えてほしい。川辺川ダムには反対ではなく、下流の安全安心のためには必要だと思う。宮園地区の安全安心のために、五木ダムを整備してほしい。</p>	<p>（国）濁りが発生したときには、上流の五家荘まで見に行っております。令和2年7月豪雨等によって上流域に土砂がたまっており、上流域でしっかり対応しないと抜本的な対策にならないと考えております。</p>
<p>林間学校を行う予定だが、土砂撤去等により川の流れが速くなっており、川遊びに不安がある。林間学校を行う期間だけでもチッソ（JNC）の堰堤を閉めてほしい。</p>	<p>（県）今後立ち上げる地域協議会（実施計画P41）の中でそのような御意見等をいただきながら、宮園地区の河川整備に生かしていく予定です。</p> <p>【その後の対応状況】 宮園地区振興計画の策定に向けた協議会の中で議論する予定です。チッソ（JNC）の堰堤については、県河川課とチッソ（JNC）が協議し、林間学校期間中は閉める方向で調整中です。</p>

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
この計画はダムとは切り離しているということだが、関連はあると思う。流水型ダムが環境に与える影響について、村としても調べて、しっかりした考えを持っておく必要があると思う。	(村) 五木村の環境が一番大事であり、環境が悪化するようであればいけないと考えております。国に対して、現在進められている環境アセスの内容を丁寧に説明してもらおうようお願いしております。環境への影響について数値化等をして説明いただき、その上でダムに対する態度を判断したいと考えております。
昨年度村が実施したシルバー人材センター利用に対する補助を継続してほしい。	(村) 6月議会で継続するための補正予算を議決し、今年度も継続実施いたします。
高齢になり、鳥獣害防除ネットを張るのも一苦勞。役場の若い職員が中心となって、「すぐやる課」のような住民の困りごとに対応できる仕組みができないか。	(村) 良い取り組みだと思いますが、役場も人が少なく、会計年度任用職員を採用しているところです。いろいろな方法を考えてまいります。
米作りについて、高齢化や機械の値段高騰で生産者が少なくなることが心配。機械購入への補助等はできないか。	(村) 中山間事業で生産組合に対する補助制度はありますが、個人への支援は新規就農者のみを対象としております。調べた限りでは、他市町村でも該当する事例はありませんでした。
昨年の座談会で話した急傾斜対策について、県が調査に来た後の経過について連絡がない。	(村) 確認した上で、ご連絡いたします。  【その後の対応状況】 球磨地域振興局へ相談し、適用可能な事業について確認中です。
県が100億円の財政支援を表明したが、村として必要な事業費を積み上げ、知事の任期中に県と交渉するべきではないか。	(村) 基本計画P14に、「国・県は取り組みの推進に必要な財政上の措置を最大限を講ずる」と記載しております。現時点ではそこまでの対応は考えておりません。
人口減少対策として、人吉球磨が一体となった企業誘致に取り組んでほしい。	(村) ご意見として承ります。
平場を早急に整備し、住宅整備、企業誘致を進め、人口減少を食い止めてもらいたい。造成箇所は人吉などに近い頭地より下流のほうがよいと思う。	(村) 頭地地区等のグランドデザインを策定する中において、平場の造成についても協議いたします。(実施計画P40)
実施計画P6のタブレット配布時には、高齢者などをしっかりフォローしてほしい。	(村) ご意見として承ります。
県が設置した振興相談室とダム対策課の連携はどのようになっているのか。二重窓口にならないようにしてもらいたい。また、待ちの姿勢ではなく、村内を回って村民の声を聞いてもらい、振興計画に反映させていただきたい。	(県) 相談室は県の出先機関として設置しております。村の職員には言いにくいことも、県には言いやすいということもあるかと思っております。いただいたご意見は、必要に応じて国・村と共有し連携を図ります。当面は、相談室に在室して状況を見ますが、必要に応じて外に出ていくことも検討いたします。

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
役場の人材育成にも取り組んでもらいたい。先日役場で土地台帳について尋ねたところ、職員が台帳のことを知らなかった。	(村) しっかり教育してまいります。
村に残る若者を大事にしてほしい。	(村長) 昨年度から、村内の若手事業者と意見交換をしております。若者が活躍できるよう、後押していきたいと考えております。
人口減少対策として、200人規模の県の組織を村内に設けてもらってはどうか。	(村) 県にお伝えします。
このような機会はこれからも設けるのか。人数が多いと話しにくいこともあるので、もう少し小さい単位で実施してもらえるとよい。	(村) 要望をいただければ出向いてまいります。 (県) 役場内に県の相談室が開所しましたので、是非、ご利用ください。

## 三浦地区（6/20開催）

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
河川整備については護岸整備も重要。梶原の上り口の左岸を整備してほしい。	<p>（県）現在、崩れている護岸については、現地確認後、まずは応急補修をして、その後に土砂を搬出していきたいと考えております。</p> <p>【その後の対応状況】 6月中に土砂撤去、流木搬出完了しております。</p>
気候変動により、雨の降り方が変わってきている。上流の沢や谷で流木を止める治山工事も必要ではないか。	<p>（県）実施計画P30に、気候変動に対応した流域治水の推進を掲載しております。河川だけではなく、山からの土砂を砂防で止める、森林整備をするなど、総合的に取り組んでまいります。</p>
終戦後の拡大造林の際に川端に植えられた木が大雨で流されるのではないか。災害に強い山づくりも必要ではないか。	<p>（県）実施計画P28記載のとおり、宮園・三浦地区を中心に流域保全総合治山事業で災害に強い森づくりを進めてまいります。</p> <p>（村）山のゾーニングに取り組み、保全する山や産業に利用できる山などを把握してまいります。森林環境贈与税等の利用も検討いたします。</p>
小さい谷に大木が倒れ、横たわっている。降雨時にはそれがダム化し、被害を拡大するのではないか。大変だと思うが、対応してほしい。	<p>（村）村だけでは対応が難しいため、国・県と協力して取り組んでまいります。</p>
砂防ダムに溜まった土砂を撤去してもらいたい。土砂の上を流れて水が落ちてくる。	<p>（国）砂防ダムには、土砂が溜まっても大丈夫なもの、そうでないものの2種類があり、場所に応じて総合的に判断して、優先順位を付けながら撤去をしております。危険度が高いところは優先して撤去いたします。</p> <p>（村）国には、梶原地区について優先度を上げて対応いただくようお願いをしているところです。現場を国と確認し、しっかり対策していく予定です。</p> <p>【その後の対応状況】 砂防ダムについては、川辺川ダム砂防事務所に要望箇所の一部を情報提供済みです。</p>
くねぶの生産量が増えることで、買取価格が下がることを懸念。今後も価格を維持したまま、全量を買ってほしい。	<p>（村）以前は外部で加工していましたが、今年は加工場を整備し、できるだけ村内で加工できるようにした上で、多くの商品ができればと考えております。一方、果実のまま売るのが一番利益が出るので、販売方法・販売先を検討してまいります。</p>
下刈をしたくても高齢化が進み、人手不足で十分にできない。改善策を考えていただきたい。	<p>（村）伐採後の育林について、現在、国・県の補助事業に村独自の補助を上乗せし、下刈の際に100%の補助金を出して、育林までしていただくような施策をしております。作業員の方に手当を出すことを補助の条件としており、できるだけ作業員に手厚い対応していただくようお願いしているところです。</p> <p>また、林業大学校県南校の入学者が増えており、1人でも多く村内に働き手として残っていただくようお願いしてまいります。</p>

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
<p>集落にある神社、御神体の管理をお願いできないか。</p>	<p>(村) 教育委員会がヒストリアテラスの活用等を検討しているところです。現在の検討状況を確認し、報告する予定です。</p> <p>【その後の対応状況】 神像などを地区の集会所に移設し、保存することを五木阿蘇神社と地区で決定しております。</p>
<p>母の介護のためUターンしたが、村内に施設がないため、村外の施設に入所させている。住み慣れた場所で一生を送ることができるよう、できるだけ早くグループホームを整備してほしい。</p>	<p>(村) 村の福祉施設等は順番待ちでなかなか入れず、家族の負担が大きいという現状は理解しております。具体的な検討を進めてまいります。</p>

頭地地区（6/22開催）

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
<p>実施計画P40に記載しているグランドデザインについて、既に整備した施設（五木源パークやヴィラなど）をどのように活用していくのか。</p>	<p>（村）平場の造成や既存施設の活用も含め、総合的なグランドデザイン描いていく予定です。協議会には国県村に加え、村民代表や学識経験者などにも入っていただき検討したいと考えております。</p>
<p>流水型ダム計画がある中で、既存施設を活用できるのか。提案であるが、九電が板木地区で取水をしているが、その下流に、ダムができた場合のバックウォーターを止めるダムを作ってほしい。下流からたまった水はそこで止まる。取水口の改良や導水管を拡幅し、ダムを建設する際に仮排水路を作れば、上流からの水はそのまま下流に流せる。そうすれば、五木源パークなどは浸からず使えるのではないか。</p>	<p>（村）ダムに対する判断をしていない中でも検討できることを進め、ダムに対する判断をした後は、判断に応じた対応を追加していく予定です。</p> <p>【今後の対応状況】 国が久領に整備中の大型模型を用いて、説明を行っていく予定です。</p>
<p>ダムの判断後に検討するのは遅いため、事前に検討を進めてもらいたい。</p>	<p>（村）グランドデザインでは、まずは住民参加のもと、平場の確保について協議したいと考えております。また、現在、国が久領でダムの模型を製作中であり、今後、環境への影響について説明があると思います。そのようなことが分かってくると、具体的な検討ができるようになるかと考えております。</p> <p>（国）現在、ダムと振興を切り離し、ダムの構造や運用について環境影響評価の中で検討しています。頭地周辺の水環境がどうなるかを検討するため、久領に模型を作成中です。治水機能の確保のため、洪水調節の最高水位はどうしても頭地周辺の水没地まで上がりますが、極力頻りに水位を頭地周辺まで上げないような運用ルールを検討しております。土砂の堆積や粉じんなどに対する懸念があることは承知しており、模型実験で説明できるようにしたいと考えております。</p>
<p>新たな振興計画は県が中心になって作られたと思う。振興計画を実施するため、県職員が追加で派遣されたとのことだが、県の直轄の村になるのか。知事が村の振興計画を説明し、県が実施するのなら、それは県の直轄ではないか。</p>	<p>（村）5月15日の確認式の際に県に要望し、今回2名を追加で派遣していただきました。5年間で集中的に振興を進めることが重要と考えております。主体は村であり、県にはサポートをしていただきます。</p>
<p>計画の目玉は何か。</p>	<p>（村）少子高齢化の中、人口減少が進んでおり、子育て支援、住宅支援、雇用支援などを総合的に進めることが大事と考えております。若い人たちが村で暮らしながら家庭を守り、継続していくことが大事だと考えております。基盤整備については国県と一緒に取り組みます。</p>
<p>本来は村長が計画を作り事業を考え、お金が足りないなら国県に必要な支援を求めるべきではないか。</p>	<p>（村）振興計画を策定する中で、村の意見を十分に伝えており、村長としての意見も反映されております。次年度の実施計画に向けても反映させていきます。</p>
<p>村長は流水型ダムの建設について「環境への影響がわからないと判断できない」と言われるが、判断までにどのくらいの期間がかかるか。</p>	<p>（村）流水型ダムの建設によって、環境悪化や臭いなどがあるといけないと考えております。国にしっかり説明をいただき、村長としても納得でき、住民も納得できたときにダムの判断時期だと考えております。</p>

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
ダム問題に対し決定権がある審議会のようなものを設置してはどうか。メンバーはこれまでの村長やダム対策課長などの経験者。そのような組織がなければ、国、県に対し、モノを言うことができず他人任せになるのではないかと。	(村) 貯留型ダムの際にいろいろな審議会があり、それを統合したのが今の五木村再生総合行政審議会になります。環境影響評価等が進んでいく中で、時期が来たら検討していきます。
道の駅のトイレ改修に時間がかかっている。また祭りの期間に改修するとはどういうことか。早期完了を事業者である県に要望してほしい。	(村) 大型でジェンダーレス等に対応したトイレを整備する計画であり、入札に時間がかかると聞いております。県には随時、早期完成を要望しているところです。  【その後の対応状況】 県に確認したところ、今年度末に完成予定とのこと。引き続き、早期完成を要望してまいります。
以前、水没予定地内に子守唄像があった。頭地大橋の先に25m級の大きな観音像(子守唄像)を立ててはどうか。	(村) グランドデザイン策定に向けた協議会の中で、住民参加のもと協議することを検討いたします。
頭地地区内の水路について、水深が深く手入れが難しいため、浅くしてもらいたい。	(村) ご意見として承ります。  【その後の対応状況】 水位を下げて調整しました。
どの事業が「新たな」計画なのかがわからない。目玉がない。  五木村の人口が4,000人いたときに、全員が村に残れるだけの平地を用意と言われていたが、確保できないまま平成8年にダムに合意した。人口を増やすなら目玉の振興策が必要。広大な平場に工場を誘致するなど。  例えばトンネルができる等の目玉がほしい。期成会などで大通のトンネルを要望してほしい。熊本地震発生後、国は阿蘇に本来やらない復興道路やトンネルを作った(国道57号北側復旧ルート)。国にも手伝ってもらってはどうか。	(村) 平場の造成については、グランドデザイン策定に向けた協議会の中で急ぎ検討していく予定です。 トンネルについては、実施計画P34に「検討を行う」と記載されております。村としてはまず、小鶴までの狭隘な区間や、通行規制がかかりやすい箇所を優先して取り組んでもらっております。
令和2年7月豪雨時、既設の砂防ダム(宮目木)に土砂が溜まり、満杯になって溢れ、自分の財産が被害を受けた。対応を国に求めたが何もしてもらえず、今回、さらに上の方に砂防ダムを建設すると説明してきた。新しく作る砂防ダムも土砂がいっぱいになれば、同じことの繰り返しではないか。必要性は理解できるが、まずは過去の被害に対し、誠意をもって対応する必要があるのではないかと。	(国) 過去の経緯を含め総合的に対応を検討し、また相談させていただきます。  【その後の対応状況】 川辺川ダム砂防事務所の職員が改めて対応案を相談しております。また、7月23日の宮目木地区砂防堰堤用地説明会において、砂防堰堤事業の今後の進め方をご説明しております。
下梶原の県有林1,000haについて、焼畑による6次産業化を進めたいと考え、払い下げの相談をしている。知事に強く伝えてほしい。	(県) 内部で検討していると聞いていますが、改めて担当部局にお伝えします。  (村) 村も県と、県の財産を五木村の振興にどう使うかという観点で協議を進めております。経過等はお知らせいたします。
実施計画P25に記載してある水道施設の改修について、高野地区も老朽化が進んでいるため改修してほしい。	(村) 高野地区の施設も調査をする予定です。今後、国と協議して計画を立ててやっていく予定です。

南地区（6/27開催）

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
移住、雇用の実績は。	（村）令和4年度は12名（Uターン者除く）が移住し、複業協同組合や林業、製造業等に就職しております。
振興公社が樺櫨（ボクソク。漢方薬の一種。クヌギなどの樹皮を乾燥したもの。）の作業をシルバー人材センターに委託している。今後もその仕事を続けられるよう応援していただけないか。	（村）機械化できればもう少し楽に、生産量も上がるのではないかと考えております。需要もあると聞いているので、検討いたします。
携帯電話の電波が外では入るが、屋内では入らない。	（村）携帯電話会社に相談いたします。 【その後の対応状況】 NTTドコモに連絡済みであり、個別対応予定です。
温泉施設と道の駅が離れており、歩くのが大変。食事するところもない。温泉施設にそれらの機能を集約し、道の駅は駐車場にしてはどうか。	（村）施設整備から20年以上経ち、ニーズや環境が変化しております。R3年度に改修の基本構想を策定しており、現在は基本計画を策定する前の段階です。ご意見どおりに機能を集約することは難しいですが、施設間の動線については、基本計画の中に歩きやすくする、楽しさを設けることなどを記載しております。食堂や簡易宿泊所の機能についても検討してまいります。
工事中トラックが現場に入る際には、事前に知らせてほしい。	（村）業者には地元の区長に事前に連絡するよう伝えておりますが、改めて徹底いたします。 【その後の対応状況】 国、県、村、民間事業者による安全協議会の設置を調整中です。
工事中トラックと狭い道路で対面した際に、トラックが道を譲らないことがある。地元者優先を徹底してほしい。	（村）地元優先とするよう、事業者への周知を改めて徹底いたします。 【その後の対応状況】 国、県、村、民間事業者による安全協議会の設置を調整中です。
瀬目から野々脇までにある谷は被災することが多く、よく通行止めになる。小浜の迂回路の整備を検討してほしい。	（村）今後、検討してまいります。
獣害対策について、イノシシが増えている。駆除隊で地域を割り振って駆除してほしい。	（村）獣の種類に応じて班編成し、担当地区を決めておりますが、現状としては個人で駆除されることが多くなっております。関係者の会議において、各班の担当地域を優先して活動していただくよう話をする予定です。また、頭数当たりの単価を上げ、積極的に捕獲してもらうよう取り組んでいるところです。
人口対策は村だけでは簡単にできない。例えば交通刑務所など、国や県の公共施設を誘致してほしい。	（村）新たな振興計画に位置付けた人口増加のための取組みを国、県と連携して取り組みたいと考えております。9月までに総合的な子育て支援の取りまとめを考えております。公共施設のあり方等についても国、県にお願いしていく予定です。
村営住宅について、外壁やトイレを補修してほしい。また、畳の部屋のフローリング化や、押入れの改善もしてほしい。	（村）現状を確認させていただき、対応を検討いたします。

西地区（6/28開催）

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
<p>県道小鶴原女木線や宮原五木線について、見通しが悪い箇所や電線に影響がある箇所の樹木を伐採してほしい。</p>	<p>（村）県に現場写真を見せ、対応をお願いしております。県によると、まずは地主に伐採を依頼することが基本とのことですので、どうしても切っただけず、車両の通行に支障があるような場合は、県で伐採することもあるとのこと。なお、送電線に支障を与える場合であれば、九州電力に伐採を依頼することになります。</p>
<p>県道宮原五木線について、いつも危険を感じているので、解消に向け頑張っていたきたい。</p>	<p>（村）急カーブが危険ということで、県から改良するための予備設計の測量を今年度実施すると聞いております。</p> <p>（県）改良工事を計画しています。今後も関係者と話し合いながら進めていく予定です。</p>
<p>県道宮原五木線の大通トンネルを東陽側に抜けた少し下あたりが2箇所くらい樹木が伐採され、見通しがよくなった。その下の方も見通しが悪いため、木や枝を伐採してほしい。</p>	<p>（村）県に相談いたします。</p> <p>【その後の対応状況】 県南広域本部が対応を検討中です。</p>
<p>大通トンネルの話がよく出るが、すぐに来る話ではないので、県道の見通しをよくするために支障となる木を伐採するなど、出来ることに取り組んでいただきたい。</p>	<p>（村）ご意見として承ります。</p> <p>【その後の対応状況】 県南広域本部が対応を検討中です。</p>
<p>県道宮原五木線にある樁工区の急カーブの危険解消は、ちまちまやるよりもトンネルを掘るなど大がかりにやった方がいいのではないかと。</p>	<p>（村）県からは、樁工区を含め路線のいろいろな箇所をチェックし、安全確保のため早急に道路改良を行いたいと聞いております。地元の方にも協力いただく場面もあると思います。具体的に決まったら、地区の皆様にもお知らせいたします。</p>
<p>県道宮原五木線の東陽側には、ゴミが結構落ちていて、観光客の心象も悪くなるので、きちんと管理してほしい。</p>	<p>（県）所管する県南広域本部にお伝えします。</p> <p>【その後の対応状況】 県南広域本部が対応を検討中です。</p>
<p>林業従事者が減っているため、数値目標を立てて人材確保をやっていただきたい。林業大学校県南校ではこれまで卒業生26名中、1名だけ五木村で就職していただいた。</p>	<p>（村）林業大学校については来年度から定員を増やす話もあり、多くの卒業生が村内に就職するような体制が取ればよいと考えております。実習のフィールドをもっと村内に確保し、生徒と村内事業者の交流を増やすことなども検討いたします。また、外国人実習生の受入れも含め、人材確保を検討いたします。</p>
<p>内谷には耕作放棄地が多くある。いろんな農作物を作るなどしてはどうか。</p>	<p>（村）地域の皆様のご希望があれば、耕作放棄地対策を活用するなど検討いたします。ただし、個人の農地なので、その後の維持管理は個人や地域でしていただくことに留意いただきたいと思います。</p>
<p>大滝公園について、遊歩道などの足元が悪い。東屋も座れる状態ではない。しっかり管理してほしい。</p>	<p>（村）ご迷惑をかけ申し訳ございません。令和2年及び4年の災害で歩道が若干壊れており、管理の方向性を検討しております。</p>

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
大滝公園は重要な観光地であるが、ヒルが出る。何とか出来ないか。	(村) ヒルを駆除することは難しいため、ヒルがいることを表示して観光客自身で身を守ってもらうような対策を検討いたします。
白滝公園の川に砂利がたまっている。里帰りした子どもの遊び場であり、祭りもあるので川遊びができるよう対応してほしい。	(村) 河川の工事中なので、県と再度協議する予定です。 【その後の対応状況】 球磨地域振興局に確認したところ、「梅雨明けに村の要望を伺いながら掘削箇所を決めたい」との回答をいただきました。
子育て支援について、村に若者が来るように、他の自治体がやっていないような独自の支援を行ってほしい。	(村) 現在、本村に帰ってきた人材への育英資金の扱いなどを含めた抜本的な子育て対策を検討中です。9月までにはとりまとめたいと考えています。
宮園の老人クラブが解散した。人口が多い地区なので、再結成に向けて努力いただきたい。	(村) 老人クラブは、高齢者が社会参加や健康づくり、生きがいを持ってもらうため必要だと考えております。今後関係の皆様と協議していく予定です。
最近では、「人生100年時代」と言われている。65歳でまだ元気な方は「老人クラブ」という名称を敬遠するのではないか。改名できないか。	(村長) 今後、検討していきます。
空き家対策について、和歌山県岩出市では、市が空き家等及びその土地の寄付を受け入れ、建築物等を除却し、その跡地を利活用する事業を行っている。村も同じようにやって、村営住宅や公園を整備することができるのではないか。	(村) 空き家対策については、今年度、村内全域を対象に、空き家の実態調査を行います。調査結果をもとに空き家対策計画を作成し、空き家の利活用や撤去などを進めていく予定です。
実施計画P14に記載されている木質バイオマスを進めれば、五木村の森林資源の活用になるのではないか。また、村民の電気代が無料になるなどすれば、とても先が明るいと感じられる。今いる私たちが村に残りたいと思える施策にも取り組んでほしい。	(村) 令和3年度末にゼロカーボンを宣言いたしました。令和4年度にエネルギーの実態調査を行い、今年、国へ脱炭素先行地域の申請を行う予定です。指定されると国から補助をいただきながら設備等の整備ができます。エネルギーの地産地消、安価な電力供給などを目指してまいります。
村民説明会等の際は、多くの方が発言できるように、一人の発言時間を制限するなど配慮してほしい。	(村) 説明会等の際には気を付けるようにいたします。
振興計画の進捗管理はどのように行うのか。数値目標が無ければ進捗管理ができないのでは。	(村) 実施計画P45以降の一覧表のように、各取組の進捗や今後の予定を把握できるようにしていきたいと考えております。数値目標を立てにくいものもありますが、次年度以降の計画において、書けるものについては書いていくよう国・県と協議いたします。
我々村民は、この振興計画に対して何をやらなければならないのか。	(村) 村民の皆様の協力がないと進められないものばかりだと思っております。例えば、平場の造成や宮園地域振興計画では村民の皆様にもご参加いただき、一緒に作り上げていかないと進められないと思っております。各担当課等から、協力をお願いすることがあると思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 下梶原地区（7/10開催）

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
人口減少が進んでいるが、10年後にはどうなっているか。	（村）人口減少は最大の課題だと考えています。村内では毎年子どもが生まれているが、亡くなる方のほうが多く、自然減が続いています。若い世代が世帯を持ち、出産や教育できるようしっかり支援することで、人口減少をできるだけ緩やかにし、いつかは上昇に転じるよう対策を講じてまいります。
振興計画の名称に「ひかり輝く」と入っているが、これまであまり使われておらず、違和感を感じる。  下梶原は離れた場所にあり、この10年で住民も減った。現状をいつまで維持できるのか。	（村）この5年間で重要であると考えており、国、県と「五木村の振興は待ったなし」との共通認識のもと、若者や高齢者の皆さんがそれぞれ幸せを感じてもらえるよう、連携して一緒にしっかり取り組みます。
知事が20年で100億円規模の財政支援の枠組を表明した。知事が交代したら、途中で支援がなくなるかもしれない。今のうちにお金だけもらっておくという考えもあるかもしれないが、お金だけでは活性化は難しいと思う。	（県）五木村の振興をしっかりとやるため、五木村振興推進条例を制定しています。振興基金条例も設けており、財源対応もしっかり取り組みます。今年度は10億円を村に交付するよう予算措置しており、取扱について村と協議しているところで
これまでの振興計画によって、どれだけの成果があったか。	（村）国の機関である人口問題研究所は2020年の本村の人口が831人まで減少すると推計していましたが、実際は931人でした。国の予測よりも人口減少のスピードを抑えることができおり、これまでの取組みの成果が一定程度あったものと考えています。  （県）人口問題研究所は令和22年に465人まで人口が減少すると推計していますが（基本計画P9参照）、現在の人口を維持できるよう、今回策定した計画に基づき、しっかり対応してまいります。
県道五木湯前線について、落石や落ち葉の除去を春・秋の年2回程度してもらっているが、もっとこまめに行ってほしい。この地区にももう少し目を向けていただければ。	（県）球磨地域振興局と情報共有し、対応してまいります。  （村）実施計画P36に五木湯前線を含めた県道の整備方針を記載しています。県、役場内で情報共有し、できるだけ早く改善できるよう努めます。
空き家バンク制度が整っておらず、移住者の受け入れ体制が十分ではないのではないかと。昔からいる村民だけではなく、移住してきた方の意見を聞く機会があったほうがよいのではないかと。	（村） ・空き家バンクについて、物件によっては掲載後すぐに問合せがあるものもございます。移住者との意見交換については、行政だけでは手が届かない点もあることから、今年度から移住定住に関する業務を外部委託し、様々な対応をお願いしているところです。 ・移住者の雇用の確保については、村内9社で構成する複業協同組合があります。また、本村の学校教育は高く評価されており、英語教育は県の平均以上です。移住希望者が安心して暮らせるよう、様々なことに総合的に取り組みます。 ・今年度、空き家実態調査を行います。程度の良い空き家があれば、空き家バンクへの登録を進めてまいります。また、周囲に危険を及ぼすような空き家であれば、除去するための補助制度を設けるなど、対策を検討します。

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
<p>五木湯前線の一部区間、一の股から少し下流に、数年前から道路が沈下してフェンスが設置しており、車線の半分くらい通行できない区間がある。朝晩の車の往来が多い時間帯は非常に危険。早急に改良してほしい。</p>	<p>(村) 場所を確認し、県に伝えます。(県に連絡済み)  また、工事用車両の往来に危険を感じるという意見を他の会場でもいただいていることから、国、県、村においてはそれぞれの事業発注先に安全運転や地元優先を徹底するよう改めて周知しました。現在、国、県、村、民間事業者が集まって安全対策について共通認識をもつための連絡会の設立に向けて調整を行っています。</p> <p>【その後の対応状況】  現場確認後、球磨地域振興局へ該当箇所の情報を提供し、対応方針検討を依頼しております。</p>

平瀬地区（7/16開催）

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
<p>ここから少し上流の県道に、ブロックで蓋をしている所がある。そのブロックにひびが入っており、雨のたびに心配している。ひびがひどくなる前に対応していただきたい。</p>	<p>（県）現場を確認し、振興局に伝えます。</p> <p>【その後の対応状況】 県が現場を確認し、球磨振興局に確認中です。</p>
<p>林業振興の関係で、出る羽線、鶯山線、浪人越線、折立線等を使って重機を運ぶ際に、橋の耐荷重不足が課題となっている。</p>	<p>（県）林業の効率化に伴い、機械が大型化した結果、橋の強度が足りないという課題が他の市町村でも起こっています。すぐに対応することは難しいかもしれませんが、林務部局と情報を共有します。</p> <p>（村）本件については、振興公社からも要望書が提出されています。村内で検討し、国、県とも相談いたします。</p>
<p>林業従事者の高齢化が進んでおり、人手不足が懸念されている。林業従事者の月給制の話聞いたことがある。安心した生活が送れるように、国、県とも協力して雇用確保に取り組んでいただきたい。</p>	<p>（県）月給制の導入については、経営が安定していない事業体もあり、社会保険や年金も関係してくることから、導入はなかなか難しいというのが実態としてあります。林務部局と連携しながら、村とも一緒にどのようなことができるか検討いたします。</p> <p>（村）林業の事業体の社会保険の裏負担については、振興基金で半額を助成しています。また、造林期を迎える山が増えていることから、造林者の所得を上げるため、造林に対する補助を100%に引き上げました。</p>
<p>県道宮原五木線の樺地区について、対向車と衝突しそうになったことがある。危険なので整備を進めていただきたい。</p>	<p>（県）用地等の状況を踏まえながら、今年度はどのような対応が可能か測量、設計を行います。（実施計画P35参照）</p>
<p>平瀬地区でも砂防工事が何か所か行われている。地域住民の安全のために、早く整備を進めていただきたい。</p>	<p>（国）上流で砂防堰堤の工事を行っていますが、出水期は工事を止めており、益明け頃には再開する予定です。工事は来年度くらいまでかかると考えられます。既存の堰堤については、定期的に土砂の堆積状況等を確認しながら、適宜土砂等の撤去を行っています。流域治水として、河川と山で連携しながら取り組んでまいります。</p>
<p>地区住民の自宅の上の方で土砂の流出が起こる。</p>	<p>（村）現地を確認して対応を検討いたします。</p>
<p>地区住民の家屋の間から石が落ちたり、水が流れたりしている。危険なので対応をお願いしたい。</p>	<p>（村）落石があった件については承知しています。建設課が折立線入口の改良について、地域の方々に相談しながら検討を行っています。</p>
<p>大通トンネルはなぜあの位置に整備されたのか。ループ橋を整備するためにあの位置に掘ったという話も聞いている。別の場所にもっと長いトンネルを掘れないのか。</p>	<p>（村）もっと長いトンネルを整備してほしいという意見はこれまでもいただいており、今後県が検討を行うことになっています。</p> <p>（県）ループ橋はトンネルができてからしばらく経って整備されており、ループ橋を作るためにトンネルを掘ったという事実はない。</p>

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
五木小川の少し下流の川沿いに自分の土地があり、4か所ほど崩れたり大雨の際に浸水するところがある。	(村) 現場を確認し、河川管理者である県に伝えます。  【その後の対応状況】 現場を確認し、球磨地域振興局に対応を依頼中です。
対岸の斜面は土砂警戒区域になっており、昨年測量が行われた。調査したのは県のようなのだが、その後、何も話がない。数日前にも、大きな石が道路に落ちており、危険なのでどかしておいた。他にも石が落ちてくる場所がある。危険なので早めに対応いただきたい。	(村) 県に確認いたします。  【その後の対応状況】 球磨地域振興局に確認中です。
地区内には危険な箇所ばかりで、奥地では安心できない。30年経って変わったのは人が減ったことぐらい。中心部ばかりではなく、その他の地域にも目を向けてほしい。このような意見を聞く場を設け、村づくりに反映させてほしい。	(村) 他の地域からも危険な箇所があるという意見をいただいています。令和6年度の実施計画策定に向けて、座談会や各業種の意見等をお聞きし、反映させてまいります。
近くに砂防ダムがあり、大雨が降ると家が振動する。以前から話しているが、誰も見に来てくれない。竹の川や宮園ばかりではなく、安心して暮らせる五木村をつくってほしい。	(村) 以前も同じ話をいただいております。国とは情報共有しています。改めて国に調査等をお願いします。実施計画に個別の地区名は出てこなくても、各地区の区長から意見をお聞きし、すぐに対応できるものは実施しています。緑の流域治水として河川、治山、砂防が連携しながら取り組んでまいります。  (国) ご要望の砂防堰堤について、必要な振動対策を実施してまいります。
危険な場所に住んでいる人が移住できるような宅地を整備する考えはないか。	(村) 平場の造成について、今後、ランドデザインを作る中で議論する予定です。
移住用の宅地等を整備するのであれば、住み慣れた地区に整備してほしい。年を取って新しい場所に移れば、新しい関係を築くのは難しい。	(村) 集落の再編については、住み慣れた場所がよいという方もおられ、簡単ではないと考えます。二地域での暮らし方についても検討してまいります。村の約半分を占める高齢者の皆様の暮らしについて、しっかり考えてまいります。
全体的な計画は出来ているが、最終的に村がどうなるかということが書かれていない。	(村) ふるさと五木村づくり計画では、毎年度実績を冊子にして周知しています。新たな振興計画についても、取組状況をご報告することを考えています。
上平瀬の給水施設は整備後30年が経過している。周辺住民が減り、維持管理が大変である。以前、下の砂防ダムから水を引くという話があったが、一向に進展がない。	(村) 担当課に確認します。  【その後の対応状況】 地区の要望を受けて、給水施設を順次調査・改修をしていく予定です。
本日、給水施設の清掃を行ったが、高齢化が進み、参加者が減ってきている。水は必要なものなので、村には対応を検討いただきたい。	(村) 他の地区からも同様のご意見をいただいております。村全体の課題として検討を行ってまいります。

いただいた御意見	当日の回答 【その後の対応状況】
<p>県道沿いに空き家が目立つようになった。和歌山県では、行政が家を撤去する代わりに土地を寄付してもらい、利活用するという制度がある。本村もそのようなことができないか。</p>	<p>(村) 今年度は空き家の実態調査を行い、程度が悪い物件や、利活用ができそうな物件を把握した上で、空き家対策の計画を策定する予定です。いただいたご意見も参考に、しっかり検討いたします。</p>
<p>右岸の付け替え村道については、人が見えるように配慮してほしい。</p>	<p>(村) 今年度は付け替え村道整備に向けた工事用進入路を整備します。付け替え村道の整備については、今後国と協議してまいります。</p>
<p>・タブレット端末については、高齢者のフォローをしっかりとお願いしたい。また、高森町で行われている電子図書館のような取組もお願いしたい。 ・本村はdocomoの電波が一番よく入るが、他社では料金が安いプランがある。高齢者には電話代が負担になるので、対応を検討いただきたい。WiFiがないとデータ通信料が高額になるため、この点も配慮いただきたい。</p>	<p>(村) タブレット端末の機能については、現在検討中です。利用者のフォローをしっかりと行うことと、使い勝手のよいものとなるよう、留意いたします。</p>
<p>停電が多く、仕事に支障をきたすことがある。また、ラジオの電波が入りにくい地域であるため、停電すると災害に関する情報を得ることが難しくなる。村から情報が入るようにしていただきたい。</p>	<p>(村) 担当課に確認します。  【その後の対応状況】 昨年度中に各世帯へ新たに防災無線の個別受信機を設置しておりますので、災害に関する情報はそちらから随時、放送いたします。</p>
<p>地区内には危険な箇所が多くある。是非、役場職員の方と一緒に確認していただきたい。</p>	<p>(村) 担当課と情報共有し、土砂対策や自主防災組織の機能強化など、対応について検討いたします。住民の皆様と危険な箇所と一緒に確認しながら、国県村で対応を検討する仕組みをつくれるとよいと考えます。</p>